

誇らしげなSPC隊員たち。ただし、委員会等の集まりがあって、ここに来られなかった子もいました。またそろって写真撮ります！



合志市立西合志南小学校 学校だより
「だれかのために、みんなのために、いっしょけんめい」

西南小 風 ついに S P C 結成

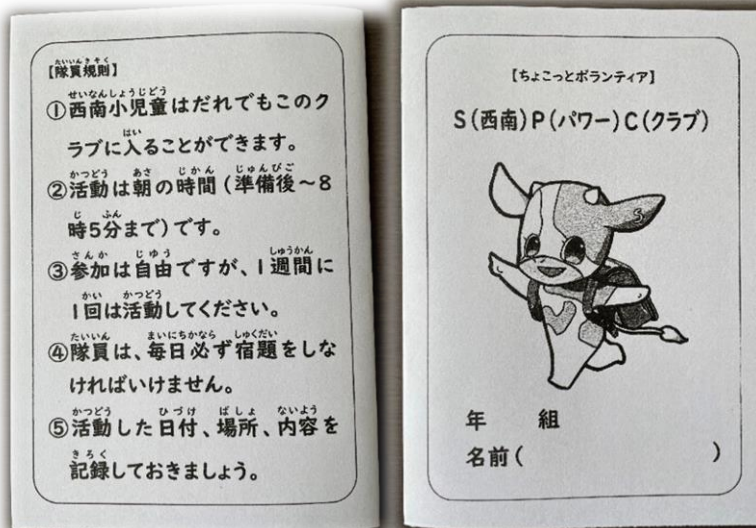
ついに、念願のSPCが結成されました。構想は昨年四月の本校着任時からありました。いつか作りたいと思いつつ、忙しさにまかされて、延び延びになっていました。しかし、令和六年四月二十四日水曜日、西南小体育館にて、ついに結成されたのです。ここまで読んで、「いや、SPC」って何よ」って思われるでしょう。中央右の写真をご覧ください。

もったいつけた紹介をしたわりには、特にひねりのないネーミングかもしれない。しかし、SPCの本懐はその高尚な目的にあります。もう一度写真を見てください。おわかりでしょうか。一番上の文字。

「ちよこつとボランティア」昨年、落ち葉の季節あたりから、学年を問わず毎日のように手伝いに来てくれる子どもが現れました。いつのまにか「シレーツ」と、作業を始めているのです。その姿に、「粹だねえ」とつぶやいたものです。逆に、「手伝ってもいいですか！」「やりたいです！」

という目をギラつかせてお願いに来るド直球の申込もありました。断るわけがありません。どちらもすぐくうれしい。さらに、諸事情から「君らは明日から来なさい」と半ば強制的に呼ばれる子どももいました。すでにボランティアではありませんが、一緒に汗を流すうちに人の役に立つことの良さや、学校を美しくしたこと、活動する自分たちをみんなが褒めてくれるうれしさなどから、やがて何も言わなくても自分たちで作業を始める頼もしい姿につながっていきま

一方で、作業する子どもたちの姿を、熱い視線で追っている子どもたちも少なくありません。自分もやりたいなと思いつつ、あと一歩が踏み出せずにいる子どもたちです。子どもたちは皆、自ら成長したいという気持ちを持っていきます。私は「褒める種をまけ」と、先輩の先生方から今まで言われてきました。今回のSPC結成はまさに種まきです。



す。産みの苦しみてことで。現在の隊員六九名。活動は毎日じゃなくていいし(週一で十分です)、登校班で登校後に使える自分の時間と持ち前のエネルギーの一部を、みんなのための活動の時間に差し出してくれたらうれしいです。一番の高いハードルは、「隊員は、毎日必ず宿題をしなければいけません」というルールかもしれません。

本日(四月二十五日)は、活動の初日でした。七時四五分あたりから、少しづつ集まってきました。今日は正門横の植込の掃除とグラウンドバツクネット裏の落ち葉拾いをしました。八時頃は人数も増えて大盛況となり、一段と西南小の朝が活気づきました。二十分足らずの活動を終え、隊員たちがそれぞれの教室に戻った後、正直私はグツグツと疲れていました。でも、心地よい疲れです。この活動の繰り返しで、子どもたちは成長していきます。そうすると、今の疲れを吹き飛ばす以上の元気をもらえるはず